

平成30年度

まちづくり懇談会実施結果報告書

(中央地区)

宇都宮市総合政策部広報広聴課

**平成30年度 第12回  
まちづくり懇談会《中央地区》実施結果報告書**

この実施結果報告書は、まちづくり懇談会《中央地区》における発言の要旨をまとめたものです。

- 1 開催日時 平成31年2月21日（木）午後6時30分～午後8時
- 2 開催場所 中央地域コミュニティセンター
- 3 参加者数 45人（市出席者除く）
- 4 市出席者 市長，総合政策部長，広報官，地域まちづくり担当副参事，  
中央市民活動センター所長，道路建設課長，河川課長，広報広聴課長
- 5 懇談内容

- (1) 地域代表あいさつ 中央地域まちづくり推進協議会 会長
- (2) 市長あいさつ
- (3) 地域代表意見

No.	テ ー マ	所 管 課
1	二荒山周辺，特に南側の再開発について	地域政策室 商工振興課 市街地整備課 道路保全課
2	「歴史と文化の街中央」が誇りに思えるような城址公園の整備と活用について	道路保全課 公園管理課 文化課

(4) 自由討議

No.	要 望	所 管 課
1	減災対策について	河川課
2	田川の浚渫について	河川課
3	市道7号線の名称について	道路管理課
4	高齢者の免許返納後について	交通政策課 生活安心課 高齢福祉課

5	今後のまちづくりについて	交通政策課 生活安心課 市街地整備課
6	道路のバリアフリーについて	道路保全課
7	宇都宮城址公園への指定管理者制度の導入について	公園管理課
8	オリオン通りの賑わいについて	商工振興課
9	学校番号について	教育企画課

(5) 来賓あいさつ

県議会議員 螺良 昭人 氏

市議会議員 馬上 剛 氏

(6) 市長謝辞

## ■地域代表意見 1 (要旨)

テーマ	二荒山周辺，特に南側の再開発について
-----	--------------------

「宇都宮市は恵まれた自然と古い歴史に支えられ，二荒の森を中心に栄えてきたまちです。」と市民憲章にもある。その二荒山神社周辺，特に南側の再開発について伺う。

数年前から，ドンキホーテが入っているビルと，大通り側の通称「バンビル」の耐用年数に伴う建て替え，又は，耐震工事による改修等によって，中央地区の住民の生活の為の食料品や日用品の購入先に困るようになるのではないかと話がある。

まず，喫緊の課題として，改修工事が始まった時に，地区住民が食料品や日用品の購入に困らないような代替店舗の確保をお願いしたい。さらには，このような生活必需品の安価な購入先が中央地区から撤退することのないように，行政からの適切なインセンティブを考えてほしい。

先日，「宇都宮パルコ撤退」との新聞報道もあった。ドンキホーテ周辺の建て替えに際しては，ドンキホーテが宇都宮パルコの中に入るようにしてほしい。

民間の土地・建物であるため，市としてできることは限られていると思いますが，地権者やテナントへの働きかけなど，可能な方法を検討してほしい。

また，パルコの立体駐輪場は使用しにくいので，地上の駐輪場を確保してほしい。

次に，やや長期的な課題として，二荒山神社南側の再開発にあたっては，「L R T の駅西側開通」と連動して，他県からのお客さんが立ち寄ってくれるような魅力ある施設が含まれるように，総合的にプランニングしてほしい。

魅力ある施設の例としては，ブレックスの試合や「3 (スリー) on 3 (スリー)」の大会ができるような，アリーナを含む複合施設の建設，立松和平や渡辺貞夫の記念館，などが考えられる。

昔の「バンバ仲店」の様な，賑わいのある街づくりを，行政と共に，進めて行きたいと考えている。宇都宮の中心である中央地区の現在の状況を行政としてどうとらえ，また，将来的にはどの様にしていくおつもりなのか，お伺いしたい。

回答	所管課： 地域政策室，商工振興課，市街地整備課，道路保全課
----	-------------------------------

【市長】

宇都宮の中心部である中央地区，オリオン通りやユニオン通りなどは，ここ最近通行量が増えている。中央地区の皆様のおかげと感じている。特に夜間の交通量が増えている。

店舗改装の補助や，年間約270日ほど予約が入っているオリオンスクエアでのイベント，夜間まで営業している飲食店の進出，など様々な取組によるものと考えている。

二荒山神社南側の再開発については，現在，地元権利者からなる再開発準備組合において，この地区にふさわしい施設となるよう，施設内容を含めた事業計画案の検討

や権利者及び関係者の合意形成等に取り組んでいるところである。

1つ目の御意見のうち、「工事期間中における代替店舗の確保」についてであるが、現在、本市としても、円滑な事業化に繋がるよう、再開発準備組合を継続的に支援しているところであり、事業を実施する際には、再開発準備組合に対し、周辺住民の方々が食料品や日用品の購入に困るなどの影響がないよう、代替店舗の確保などについて、働きかけていく。

また、「生活必需品の安価な購入先が中央地区から撤退することのないような行政からの適切なインセンティブ」についてであるが、本市では、スーパーマーケット、ドラッグストアなどの住民生活に必要な機能について、本市独自の補助制度を設けており、企業等に御活用いただきながら、引き続き、身近な生活に必要な施設の中心市街地への維持・誘導を図っていく。

バンバ地区の再開発については、地元の権利者の方々からなる準備組合が事業計画の検討を進めているところであり、本市としても、再開発準備組合に対し、再開発の専門家であるコンサルタントを派遣するなど、円滑な事業化に繋がるよう支援をしているところである。

「ドンキホーテがパルコの中に入ること」についてであるが、市が特定のテナントに対して働きかけることは困難であるが、身近な生活に必要な施設について、中心市街地への維持・誘導が必要であると考えていることから、準備組合に対しては今回頂いた意見を伝えるほか、準備組合の施設検討に際し、生活利便施設が維持されるような提案を行っていく。

「地上の駐輪場の確保」についてであるが、中心市街地においては、土地が狭小の中、店舗等の建築面積を確保しながら土地の高度利用を図るため、立体式の駐輪場を整備してきたところである。

また、周辺には、4時間無料の「中央小北自転車駐車場」、「中央1丁目自転車駐車場」をはじめ、東武駅の近くに2時間無料の「短時間自転車駐車場」も設置していることから、併せて御利用いただきたい。

次に、「LRTの駅西側と連動した、魅力ある施設が含まれるようなプランニング」についてであるが、本市としては、再開発事業の推進に当たり、LRTのJR宇都宮駅西側への延伸も踏まえながら、中心市街地における恒常的な賑わいの創出や魅力の向上につながる施設内容となるよう、再開発準備組合を支援していく。

中央地区は、中心市街地における賑わいや活力の中核を担う重要な地区であると認識しており、当地区の現状は、バンバひろば等におけるイベントの開催や再開発事業など、地元や行政の各種取組により、空き店舗の減少や、歩行者・自転車の通行量が下げ止まりの傾向にあり、また、イベント開催時や週末の夜間を中心に賑わいや活気が出てきている状況にある。

今後は、LRTのJR宇都宮駅西側への延伸を見据え、中心市街地の将来像について、地元の皆様と意見交換を行いながら共有した上で、再開発事業をはじめとした各種活性化事業により、賑わいのあるまちづくりに取り組んでいく。

最後に皆様をお願いであるが、地元の活性化につながるよう、なるべく地元にある

お店を利用してほしい。

## ■地域代表意見 2 (要旨)

テーマ	「歴史と文化の街中央」が誇りに思えるような城址公園の整備と活用について
-----	-------------------------------------

中央地区は、北にある二荒山神社をはじめ、城址公園、オリオン通り、釜川、中央郵便局、NHK、市役所というように、歴史はもとより経済・文化・観光資源が多々ある地区である。

約142年の歴史を持つ二荒山神社に比べて城址公園は再建してまだ12年である。真新しいやぐら・まだ若木の桜並木ではあるが、たくさんのイベントも招致され賑わいを少しずつ見せている。私たち中央地区の住民がさらに誇れるように、また他地区から訪れた人がまた来たくするような思い出に残るような城址公園にしていきたい。そこでいくつかの提言をする。

- 1 お堀に露出している送水管を見えなくしてほしい。パイプの途中破損箇所は速やかに修理してほしい。
- 2 エレベーターを木製の物見やぐらのような外観にしてほしい。
- 3 お手洗いの外観も工夫して時代を感じさせるような作りしてほしい。
- 4 コンクリート壁を漆喰壁にしてほしい。
- 5 諸説はいろいろあると思うが「釣り天井」と「七名城」の説明の立て札が欲しい。
- 6 土塁の下の空間を有効活用してほしい。難しいとは思いますが観光客が休憩できるようなカフェのようなものを作ってほしい。この周辺は飲食店がほとんどない。仲間内では、公園の敷地内にお店がほしいという声もあがっている。
- 7 公園外周部（北東側）の歩道が傷んできたので、安全と見た目の観点から、再舗装してほしい。

回答	所管課： 道路保全課， 公園管理課， 文化課
----	------------------------

【市長】

まず1つ目のご要望である「お堀の送水管について」は、当初はなかったものであるが、お堀の水に藻などが発生することから表面水を循環させるために現在の位置に設置したものであり、管を見えなくするためには改修が必要となる。なお、パイプの途中破損箇所の修理はお堀清掃に併せて行っていく。

城址公園は、年間約25万人もの方に来場いただいている。

次に「エレベーターやトイレ、壁の外観について」であるが、整備にあたって設置された委員会においては、学識経験者や専門家などが構成メンバーであったが、歴史建造物は「史実に基づき忠実に再現する」ことを重視し、便益施設等は歴史建築と区別してあえて現代的な造りとする整備計画となり、今のような形になったところである。

次に、『釣り天井』と『七名城』の説明の立て札について」のうち、まず「釣り天井」については、将軍秀忠が日光社参の帰り道、宇都宮城への宿泊予定を変更して江戸に帰ったことや、城主の本多正純が横手に幽閉された史実をもとに、後に生み出された伝説ではあるが、テレビなどを通して紹介され、宇都宮城を知るきっかけとなる有名な話であることから、現在、観光客等に対して、解説を行っているが、今後は、もう少しわかりやすい案内の方策について検討していく。

次に「土塁下の空間活用について」は、建築基準法上、倉庫として整備され、現在は防災備蓄倉庫として活用しているところであり、土塁下の空間をご要望のカフェ等の人々が集まる施設にするには、消防設備や排煙設備、避難通路など大規模な改築が必要である。

先ほど御指摘いただいた乱雑な場所は早急に対応する。

休憩場所については、当公園の清明館付近や木陰には、日差しを遮り休めるベンチを設置しているが、御提案のようなお店、飲食店を市が直接整備することは難しいので、休憩できるような場所の確保については検討する。

次に、「公園外周部の歩道について」であるが、御要望のあった公園北東部の歩道の亀裂が生じている部分や見た目が悪い部分については、平成31年度中に修繕を実施する。

## ■自由討議（要旨）

### 発言 1 減災対策について

平成27年に起きた関東・東北豪雨の際、田川の豊郷付近で鬼怒川が氾濫したが、わきに田んぼがあったため、川の水を吸収してくれた。

その際、中央地区を流れる田川、釜川は、あと1メートルくらいで氾濫するのではという状況であった。

このたび、新しいハザードマップが市から配付されたが、千年に一度の雨が降った場合、中河原付近まで水が押し寄せてくるというような内容であった。

減災のために、中央地区の田川西側にも、水を吸収できる土の部分を確認しておく必要があると思うがいかがか。減災を兼ねた公園等の設置についても検討していただきたい。

### 回答 所管課：河川課

【市長】

田川については、河川管理者は県であるが、定期的な巡視を行うとともに、状況に応じて堆積土砂の撤去や護岸の修繕を実施しており、今年度は釜川との合流箇所における川底の整地を実施したと聞いている。

本市においては、雨水の円滑な排水ができるよう、雨水管や道路側溝の清掃を行うとともに、田川に合流する釜川、藤七川などの堆積土砂撤去や除草を行うなど、適正な維持管理を行い、県と連携しながら被害の軽減に努めていく。

公園の設置など、水を吸収する土の部分の確保については、住宅密集地であるため困難であるが、まずは、浚渫等の維持管理を行っていく。

## 発言 2 田川の浚渫について

50年以上、田川の駅周辺を見ているが、川底が浅くなってきているように感じる。上流からの石が堆積しており、大雨時は、洪水の可能性が高まると思うので、田川の川底を採掘して深くしてほしい。  
ハザードマップで浸水区域に該当する場所もある。一日も早くお願いしたい。

## 回答 所管課：河川課

【市長】

先ほどの自由討議でも回答したとおり、田川の河川管理者は県であるが、平成28年から30年度にかけて土砂撤去や河床整正など実施したところが何箇所かある。  
今回いただいた御要望については、県に伝えるとともに、今後も県と連携して維持管理を行っていく。

## 発言 3 市道7号線の名前について

市道7号線について、避難誘導などを行う際、名前がついた道路であれば説明がしやすくなるので愛称を付けていただきたい。

## 回答 所管課：道路管理課

【市長】

道路の愛称については、最近の例だと、陽東さくら通りや城東通りなどの愛称が新たにつけられた道路がある。  
道路の愛称をつけるには、道路周辺の自治会等から申請を受け、選定委員会において「その道路の沿道の性格に相応しい通称であること」等の選定基準を踏まえた審査を経て、愛称を決定することになる。  
今回御提案いただいた区間に関しては、中央地区・東地区・築瀬地区を通る道路となっており、申請にあたっては、愛称をつける区間の道路沿いの自治会及び連合自治会との調整も必要となるので、まずは、道路愛称事業の担当課に御相談をお願いします。

## 発言 4 高齢者の免許返納後について

中央地区は、他地区と同様高齢者が増えてきており、私自身も来年あたりに免許を返納しようかと考えているところであるが、返納した場合、大谷地区や清原地区などに出かける際にはバスを利用したいと考えている。  
鹿沼市では無料で乗れるバスが出ていると聞いているが、宇都宮市は同様の取組を



行う予定があるかどうかお聞きしたい。

<b>回 答</b>	<b>所管課：交通政策課，生活安心課，高齢福祉課</b>
------------	------------------------------

【市長】

本市においては、65歳以上の高齢者の運転免許自主返納件数が平成29年には1,381件となっており、平成25年の469件から3倍近くまで増加している。また、高齢者が運転する自動車による事故の割合も増えている。

このような中、本市においては、交通安全教室の開催や高齢ドライバーとその家族に向けた記憶力や注意力を確認できるパンフレットを配布しており、運転免許返納を考えるきっかけづくりなっていると考えている。

市としても、免許を返納してくださいと強く求めることはできない。返納後の移動手段に困る方もいるだろうし、中央地区のように公共交通が便利な地区ばかりではないことから、そういった公共交通不便地域に地域内交通やバス路線などを配備していくことを考えている。市街地への整備も考えている。

乗り換えさえすれば宇都宮市全域を自由に移動できるようなまちを目指して公共交通を充実させ、更にそのあとに免許返納をよびかけていきたいと考えている。

現時点では、70歳以上の人を対象に、5,000円分のバスカードを1,000円で購入できる「高齢者外出支援事業」を実施しているところであり、また、市内のバス事業者においては、70歳以上の人を対象に、全てのバス路線に乗車できる定期券を1か月6,000円、3か月15,000円で購入できる「おでさぼ70」を販売しているので、これらのサービスを是非御活用いただきたい。

他の自治体で実施しているような取組を実施しても、最寄りのバス停まで何キロもあり肝心のバス路線が充実していないような場所では利用できないことも考えられる。

2022年、JR宇都宮駅東口にLRTが整備された際には、すべての公共交通が利用できるICカードの導入を検討している。

あわせて、高齢者や障がい者の方への割引や、利用料金に上限を設けることなども検討している。

東京など公共交通が便利な地域でも、自宅から駅までが遠いような場合もあることから、本市においては地域内交通などでカバーし、自分の意思で市内全域どこへでも移動できるまちをつくらせたいと考えている。

<b>発言 5</b>	<b>今後のまちづくりについて</b>
-------------	---------------------

自分の子が中央小学校に通っていた頃、児童数が150人以下になったら廃校になる、駐車場になってしまうなどという案もあったようだが、中心部にいくつかマンションなども増え、多少なりとも子どもの数が増えたように感じる。

中央地区は、空き家が多いと感じる。子育てしやすい、住みやすいまちづくりを推進してほしい。

また、コンパクトシティについてお伺いしたい。

<b>回 答</b>	<b>所管課：交通政策課，生活安心課，市街地整備課</b>
------------	-------------------------------

【市長】

宇都宮市は、ネットワーク型コンパクトシティを目指しているが、イメージとしては結婚式場の丸テーブルのようなものである。式場が宇都宮市全体、それぞれの丸テーブルが各地域であり、人が住んでいる丸テーブルには生活に必要なインフラ整備をするなど、住みやすいまちにしていく。

中央地区は、他の地区と違って、二荒山神社や東武デパートなど非日常的なものがある。

J R宇都宮駅東側は、L R T整備後は150本のバス路線を新たに配備する予定である。隙間には地域内交通を整備していく。大通りには今2,100本のバスが通っているが、L R Tが整備された後に3分の1でもそのバスを他の地域に充てることができれば、より移動がしやすくなる。コンパクトなまちを複数作ってそれらを公共交通で結ぶ、ネットワーク型コンパクトシティを作っていく、この中央地区には、行政が積極的に都市機能を誘導していく。

また、空き家については、本市では「空き家会議」というものがあり、司法書士や宅建協会等のスペシャリストで構成される会議であるが、空き家を持っている人と借りたい人のマッチングや、誰が持ち主かわからない空き家の所有者調査、倒壊等の危険がある場合の対応などを行っているので、お困りのことがあれば担当部署に御相談いただきたい。

<b>発 言 6</b>	<b>道路のバリアフリーについて</b>
--------------	----------------------

高齢になってくると、車いすを利用することもあるが、付き添いがいないと通行が難しい歩道もあるので、車いすでも安心して通行できる歩道を整備してほしい。

<b>回 答</b>	<b>所管課：道路保全課</b>
------------	------------------

【市長】

白杖を持っている方や車いすの方、高齢者の方などはちょっとした段差でもつまづきやすく危険である。新設の道路はすべてバリアフリーで整備している。既存の道路についても、通行しやすいようバリアフリー整備に努めていくので、具体的な場所については懇談会の後御指摘いただきたい。

<b>発 言 7</b>	<b>宇都宮城址公園への指定管理者制度の導入について</b>
--------------	--------------------------------

ろまんちっく村やオリオンスクエアは指定管理者制度が導入されて以来、民間事業者により非常に活気あふれるものになったと思うが、城址公園にも同制度を導入してはどうか。

<b>回 答</b>	<b>所管課：公園管理課</b>
------------	------------------

【市長】

ろまんちっく村は指定管理者制度導入以降、大変多くの人に御来場いただき、年間約150万人ほどに来場いただいているとともに、道の駅として登録してからは、行ってみたい道の駅全国1位になった実績もある。

市としては、様々な施設に指定管理者制度を導入しているが、城址公園については現在市直営で管理している。制度の導入については、営利目的の事業等については適当と思われるが、城址公園の場合は管理が中心であるため、当面は直営で運営してまいりたい。

<b>発 言 8</b>	<b>オリオン通りの賑わいについて</b>
--------------	-----------------------

昔に比べて、オリオン通り内の個人商店が非常に少なくなったと感じる。郊外の店舗等に目がいきがちだが、市としても予算をつけて対策をお願いしたい。

<b>回 答</b>	<b>所管課：商工振興課</b>
------------	------------------

【市長】

宇都宮に限らず、経済を支えているのは働く人、99%を占める中小企業の活力である。大企業も工業団地に進出していただき、雇用や消費の拡大、納税などの面で経済を支えていただいている。

中心部の賑わいの創出や、また行ってみたいと思えるまちづくりを支えてくれているのが、まちなかの個人商店主の皆様だと感じている。

人に来てもらい楽しんでいただける店舗づくり、店舗の誘導が必要になってくる。

中心市街地から店舗が減ってしまったため、家賃や内装費の補助制度で支援してきた結果、飲食店なども増え、宇都宮はいつ訪れても賑わいのある町だという評価に変わってきている。

しかし、まだまだと感じているので、更に多くの人にまちなかに来てもらえるよう、空き店舗の解消などの現行の取組に加え、新たな取組も検討する。

また、ジャパンカップや、東京オリンピックから正式種目になった3×3（スリーバイスリー）もまちなかで行われるので、今後とも商店街の皆様と一緒に、中心市街地を盛り上げていきたい。

<b>発 言 9</b>	<b>学校番号について</b>
--------------	-----------------

ハザードマップなどの市が作成した資料で、小中学校の順番が記載されている資料を見かけるが、小学校は中央小学校が一番に記載されている。自分が卒業した旭中学校は、約40年前は中学校で一番上だった記憶があるが、どのように順番づけている

のか。

<b>回 答</b>	<b>所管課：教育企画課</b>
------------	------------------

【市長】

学校番号の順番については、生徒数の多い順ではない。順番はいずれにしても、出身校に誇りを持っていただきたい。